

大阪府医師政治連盟ニュース

発行所
大阪府医師政治連盟
大阪市天王寺区上本町
2-1-22
大阪府医師会館内
電話(06)6763-7004

参院選比例代表「団体の力」示す

国民のための医療実現には政治力が不可欠

羽生田たかし先生を励ます会

連盟員ら300人超が激励

大阪府医師政治連盟(府医政連)は6月14日午後、大阪府医師会館で「羽生田たかし先生を励ます会」を開催。連盟員ら約300人が参集し、熱いエールを送った。

国民の命を守るため 医療界が一致団結を

当日は栗山隆信・府の動向を解説。令和2年・3年は75歳以上の増加率がやや鈍化するにより開会。あいさつ増加率がやや鈍化するに立った茂松茂人・同一方で、その後は増加してどれだけ票を獲得できるかが鍵を握ると加



6年前、皆様方から大変なご支援をいただきまして参議院議員に初当選をさせていただきました。医療・介護・社会保障を中心とした仕事をしたいと考えています。今から続けてやらなければならないことが

日医を背負う

多々あるということに改めて感じているところ。私が頭を悩ませており、医師の働き方改革で、しっかり対応しなければなりません。もうひとつは、「医療は消費なのか」ということ。昭和58年の「医療費

羽生田たかし議員 決意表明

100年時代、医療や介護が日本の経済を支えるという考え方は当然必要であり、今後もしっかりと訴えて参ります。今回、参議院議員の全国比例は大変厳しいですが、少なくとも6年前の得票よりも1票でも多くしたいと思っています。



医政の重要性を強調する茂松委員長

医療・大阪の発展に尽くす

太田議員も支援を呼びかけ

次いで、栗山執行委員(裏面)。羽生田たかし・参議員より、とがしきな大阪府議員の決意表明(別冊)に続き、太田房江が読み上げら参議院議員が登壇。大阪の戦いは厳しいとしながらも、「自民党



栗山執行委員



太田参議院議員

最後に加納康至・府医政連副委員長の発声により会場全体で「がんばろう」と唱和。7月の決戦に向けた意気込みを確認した。



加納副委員長の発声でがんばろうコール



羽生田議員の更なる活躍を期待しエールを送った

参志会全員の再選誓う

6年間の実績を強調

同会の終了後、羽生来場者一人ひとりと握手を交わし、更なる支援を訴えた。

また、羽生田氏とともに参志会(平成25年の参議院選挙で当選した同期が34名であったことから発足。現在は40名で構成)のメンバーである太田氏も加わり、医療・社会保障分野で尽力すると主張。



来場者一人ひとりと握手を交わした

選挙制度解説コーナー！ 参議院選挙のしくみと 投票方法

参議院選挙は、各都道府県の区域を選挙区とした「地方選挙区」と全国が選挙区の比例代表「全国比例区」があります。

参議院選挙

1 地方選挙区の投票

お住まいの都道府県の選挙区「候補者名」を書いて投票します



2 全国比例区の投票

全国どこにお住まいでも各政党の「候補者名」または「政党名」を書いて投票します
同じ政党の中では、「候補者名」の獲得票数が多い順に当選します



羽生田たかし議員が目指す活動

すべての人にやさしい医療介護を



①国民皆保険制度を守ります

誰もが、いつでもどこでも、最良の医療を受けられるように、国民皆保険制度を守り、国民が必要とする医療を、最適なかたちで受けることのできる社会をつくります。

②被災地の方々の健康維持に努めます

震災・自然災害で被災され、仮設住宅等での生活を強いられている皆様への医療提供体制の充実と、医療提供者の皆様への支援を、被災者健康支援連絡協議会事務局長としての経験を生かし進めます。

③地域に密着した医療・介護・福祉を創ります

身近で、暮らしと強く結びついた地域医療を目指して、地域の皆様の安心な毎日のため、高齢社会を踏まえ、それぞれの地域に応じた医療・介護・福祉など提供体制を充実します。

④永年の医師会経験を生かした医療政策の提言をします

昭和62年から前橋市医師会理事、群馬県医師会理事、日本医師会副会長などを歴任し、永きに渡り医師会活動に従事した経験を生かして、地域医療を守るという観点から山積する諸課題にしっかり取り組みます。

⑤地域医療と医師の健康を守る働き方改革の実現に向けて

「地域医療の継続性」「医師の健康への配慮」という2本柱を軸に、労働時間の上限の考え方や地域医療への影響、そして患者の求める医療提供体制の整備や自己研鑽・研究と労働など、しっかりと検証した上で、自民党PT座長として示すべき方向性を導きます。

⑥日本の未来を産み育てる法律の充実に取り組みます

昨年12月8日に成立した「成育基本法」が充実した運用をなされるべく、成育医療等協議会の設置や運営が地域に見合った体制となるよう努めます。

⑦医師と患者の信頼関係を構築します

患者会・日本医師会とともに、我が国の医療のすがたを患者・国民と医師・医療との間の信頼関係に根差したものとしていくために、「医療基本法」の制定を目指しています。

(1面続き)
大阪府病院政治連盟
委員長／大阪府医師
政治連盟副委員長
生野 弘道 先生



大阪の高齢者数は急増すると推測されているが、対応が追いついていない。かかりつけ医や中小病院が中心となって、地域の実情に応じた医療提供体制を構築していく必要がある。また、現在の急性期医療は入院日数を減

大阪府眼科医学会
佐堀 彰彦 先生



らすことが重視され、患者のための急性期医療が行えていない。この状況を変えていくのが政治であり、羽生田たかし先生が医療界トップの成績をとることが非常に重要である。かかりつけ医の代表であり、医師が一致団結して応援しなければならぬ。

平成28年の参議院選挙を振り返ると、医療界の団体がすべて10万票以上、合計で約90万票を得た。今回はそれを奪い合っている。日頃は連帯して仲よくやっていると感じている。私は関係者が、どうして医療系では1位だったということがある、通常は1つの団体から2の中危機感を持って応援しなければならぬ。票の力は非常に大きく、前回トップの郵便局長会52万票に迫る勢いでがんばらなければならぬ。また、大阪からは太田房江先生も出馬予定である。必ず羽生田先生、太田先生を応援するというご支援をお願いしたい。

日本医師連盟参与
参議院議員
自見はなこ



山積する医療問題の中で日本医師会がリーダーシップを取るには、医師連盟が医療系の中で圧倒的多数でなければならぬ。今回の参議院選挙は激戦であるが、羽生田先生を医療系の中では圧倒的1位の結果となるようお願い申し上げる。

参議院議員
松川 るい

票の話が挙がっているが、間違いなく大事な点と断言できる。私が所属する委員会では法律が通っていく過程を目標の当たりらし、改めて感じている。団体が危機感を持って対応することが非常に大切だ。

医療は国民の生命に関わる。医療を安心して受けられる医療体制、いわば社会保障は負担ではない。日本という国が成立する上で基礎インフラであり経済政策である。社会保障の安心があるからこそ消費もできるという意味では、経済成長戦略の基になると捉えている。日本の医療、大阪の発展のため、羽生田先生、太田先生の支援を願う。



参議院選挙

期日前投票を活用しましょう!!

◎期日前投票ができる人

●投票日当日に仕事や用事(診療がある、出張に行く、ゴルフに行く、海に遊びに行く、病院に行く、買い物に行く等、理由は問いません)があり投票に行けない方。

◎投票期間・時間・場所

参議院選挙の公示日の翌日から投票日の前日までです。
●時間：午前8:30～午後8:00
●期日前投票の場所は各市区町村に1箇所以上設置されます。お住まいの市区町村のH.P.や広報紙などでご確認ください。

◎持ち物

●参議院選挙の「入場券」があればお持ち下さい。(なくても投票はできます。)印鑑は不要です。

期日前投票を利用して必ず投票に行きましょう!
お知り合いの方へもお声かけを!
「毎日が投票日ですよ!!」

★ワンポイントアドバイス ～選挙権年齢の基準日について～
●公選法の改正で18歳から選挙権が発生します。基準日となるのは投票日の翌日です。投票日の翌日が18歳の誕生日の方までが投票できます。